



翠したたる 大津山



学校だよりのタイトルは、学校の宝物である校歌からの抜粋で「翠したたる大津山」とさせていただきます。

文責 前田 洋志

元気に集まりました。

8月29日夏休み明け集会



たくさんさんの思い出ができた39日間の夏休みを終え、教室に子供の声に戻ってきました。集会では、代表3名がしっかりと声で頑張ったことなどを発表しました。さらに、私からは、聞き方名人を紹介しました。集会の時、約25分以上も「目で聞く」「背中ピン」を継続してました。話は面白くなくても大切な場合があります。

このように聞くことができる力は素晴らしいです。さすが、6年生ですね。



脳と心を育む生活リズム

夏休み期間中に、学校HPで標題の動画を配信しました。ご覧になられたでしょうか。視聴後、アンケート回答にご協力をいただきました方が多くおられました。大変ありがとうございました。



子供の成長を阻んでしまうスマホ等の恐ろしさが再認識することができました。便利なスマホですが、正しく使用しないとお子さんの性格まで変わってし

まいます。特にテレビと違って、YouTube等は、視聴者の好みをA-で検索し、関連動画を紹介するので、ついつい見過ぎることになります。しかもブルーライトの光なのでよい睡眠となりにくく、それが心身に大きな影響を及ぼすという内容でした。いただいた感想を一つ紹介します。

睡眠をしっかり取れている子は精神的にも安定しているという話を聞いたことがあります。その理由がよく分かりました。心身ともに健康で穏やかな子供を育てていけるよう言葉かけにも気を付けていきたいと思いました。

北原白秋が漫画に…

8月30日(火)に、南関町北原白秋マンガ制作検討委員会が町役場で開かれました。

郷土の偉人、北原白秋をもっとよく知ってもらおうと漫画化されるそうです。

漫画の素案を見せていただきました。その内容から分かったことです。白秋の詩人としての才能は、幼少期の読書量にありました。さらに辞書を読破し、豊富な語彙力を身に付けました。白秋は、心情をイメージ化して最適な言葉を選び、自分の頭の中で組み立てていく力に秀でた人だったことがマンガから伝わってき



ました。完成が楽しみです。(写真は、委員の皆様が白秋自筆の校歌の歌詞等を確認のために来校された様子です。)

全国学力・学習状況調査結果

全国の小学校6年生を対象にした全国学力・学習状況調査結果が公表されました。本校の6年生は、国語は全国平均を下回りましたが、算数と理科はともに全国平均を上回ることができました。特に、理科がよかったです。

6年児童への質問調査で全国平均を下回っていた主な項目は、
△「早寝・朝ご飯」△自分で計画を立てて学習に取り組む。△最後までやり遂げる。上回っていた主な項目は、
○「早起き」 ○学校が楽しい ○地域行事に参加しているなどでした。

全体的に見て、「自分でできるようになること」、つまり「自立」が課題としてあげられます。「自分にはよいところがある」という自己肯定感も低い傾向にあります。私たち大人は、価値あることに対しての挑戦を促し、自分の力でやり遂げさせ、それを共に喜び合って、成長を自覚させる対応が求められます。

スマホ等のゲームやイベントなど好きなことや楽しいことに夢中になりすぎて、生活リズムがぐずれ、いらいらし、学習に向かえない子供が全国的に増加しています。当たり前前することを当たり前前に行ける素晴らしさを自覚させていきたいです。